

第3回 観音寺市新道の駅市民検討委員会 議事要旨

開催日時 令和5年5月10日(水) 19時00分～20時30分
開催場所 観音寺市役所本庁舎4階 防災対策室
出席者 委員13名、事務局5名

【会議資料】

資料1 新「道の駅」かんおんじ（仮称）をイメージする言葉について
資料2 新「道の駅」かんおんじ（仮称）基本構想（案）

【次第】

- 1 開 会
 - 2 委員長あいさつ
 - 3 新任委員及び新任職員の紹介
 - 4 副委員長の選任
 - 5 議 題
- (1) 新「道の駅」かんおんじ（仮称）基本構想（案）について

事務局： 「資料1」を用いて説明。

現時点においては新道の駅の具体的な機能は決まっておらず、理念や目標が決まっているだけであることから、ここでイメージする言葉としてサブタイトルを決めてしまうと、今後の道の駅の機能検討の際に影響を与えてしまうことが懸念されました。そのため、現時点では、このイメージする言葉は設定せず、今後の基本計画の作成時において、本委員会で検討した成果を作業部会（仮称）に示し、それをベースとしてイメージする言葉を改めて検討し、設定したいと考えています。

委員長： 説明いただいた内容で、ご質問、ご意見ありますか。特に無いようなら引き続き事務局から説明をお願いします。

事務局： 「資料2」を用いて説明。

委員長： 説明いただいた内容で、ご質問、ご意見ありますか。

委員A： 建設候補地の選定について、海産物を売るとなったときに、販売の仕方にもありますが、観音寺の漁師さんが観音寺港から豊浜まで持っていくのに少し距離があると思いました。

委員長： 商店街との連携は期待していますか。

委員A： 新「道の駅」から、どのようにして商店街に人の流れを持ってきてもらえるか気になります。

委員B： マルナカ豊浜店は同意しているのでしょうか。また、観音寺の街中からは距離があるように感じます。加えて、規模が4haとあるが、最初から4haで進めるので

しょうか。

事務局： マルナカ豊浜店については、公表後にアポイントを取る予定です。また、4haについては、需要と供給、収支のバランスなど基本計画時に市民検討委員会や作業部会で検討し、決めていく予定です。

委員長： 広さについては、道の駅を整備するときに、ある程度にぎわってきたら二期工事で駐車場を拡張できるような余力を残して整備するという事例は、よくあるようです。そのような意味での敷地選択であると思いました。

委員長： 観音寺市街地からの距離についてはどうですか。

事務局： ハイスタッフホールから建設候補地までの時間を実際に車で走って計測してみましたが、片道で平均10分程度でした。10分の距離をどのルートで行けば一番近いか表示しないといけないと思いました。

委員B： 商店街連合会の方々が期待するのは、相乗効果だと思います。その辺りはしっかり議論していただきたいと思います。

事務局： 市内の回遊性の向上は基本目標にも掲げているので、しっかり協議させていただきたいと思っています。

委員C： 有明浜、高屋神社、雲辺寺の観光地からは、少し距離があると思いました。候補地はこの1か所ですか。

事務局： この1か所を予定地として、今後基本計画で検討していく予定です。

委員長： 市内の各観光地からの距離感でいうと、建設候補地の位置は比較的真ん中の位置にあると思いました。

委員D： 道路の拡幅は検討されているのでしょうか。

事務局： 進入路については、まだどちらにするかは決まっていますが、道路管理者には伝えており、今後基本計画で検討していく予定です。

委員E： 県道は雨の日や病院に向かう人、通勤ですごく渋滞していますが、晴れの日と雨の日の交通量はどのくらいですか。

事務局： 晴れの日と雨の日の交通量のデータは出ていませんが、国道11号は一日18,000台、県道（丸亀詫間豊浜線）は一日7,000台です。

事務局： 朝夕の通勤帰宅の時間帯は混雑しておりますが、それ以外の時間帯はスムーズに流れていると感じています。その部分については、基本計画で検討していかなければならないと思っています。

委員長： 交通面については、交通環境を悪化させないような進入路を含めた交通対策を検討することを答申案に付け加えた方がいいと思います。

事務局： わかりました。

委員F： 香川県の主要道路は狭いと感じました。サイクリング利用なども含めて、市内をつなぐ拠点のルートを見直さないと難しいと思いました。

委員D： 国道11号を4車線化すると、アクセス性が良くなる大きな解決策だと思います。

委員長： 三豊市のゆめタウン辺りが4車線化になり、観音寺の方にも進んでいく計画があると思いますが、その範囲に建設候補地は入っていないのでしょうか。

事務局： 入っておりません。

委員長： 交通量に関しては、観光需要の施設という意味で考えれば、通勤とは時間帯や曜日

の傾向が異なってくるので、そんなに大きな影響はないと思いますが、基本構想では市民にも多く利用してもらう道の駅と謳っているので、十分配慮や検討が必要だと思います。

委員 G： 建設候補地の津波・高潮・洪水・浸水の想定はどのようになっていますか。また、市内の高校から距離があるので、若い方たちをどう呼び込んでいくか課題になると思います。

事務局： 香川県が公開しているハザードマップによると、津波・高潮・洪水・浸水のいずれも想定区域外のエリアになっています。また、高校生との連携、交流については、基本計画でしっかり検討したいと思います。

委員長： 建設候補地から小学校、中学校、高校は徒歩圏外ですか。

事務局： 豊浜中学校が1 kmくらいなので、近いです。

委員 F： 大野原 IC の近くに今井田池があったと思いますが、ここはどうなのでしょう。

事務局： 国の「国営農地防災事業」という事業で耐震化対策を実施しています。

委員長： 防災拠点として、他に留意しておくことはありますか。

委員 D： 災害時に備えて駐車場になる芝生広場を構えておくとか、色々と考えていく必要があると思いました。また、基本構想では、子どもが遊べる施設も入っているので、市内の方が利用するだけでなく、アクセス性を良くして、利用のエリアを広げ、全国大会を開催できるくらいの施設を作るなど、規模も考慮してほしいと思いました。

委員長： それでは、本基本構想（案）について、委員より建設的な様々な意見をいただきましたが、附帯意見を付して承認してよろしいでしょうか？

全員： はい。

（２）新「道の駅」かんおんじ（仮称）基本構想にかかる答申書（案）について

委員長： これまでの意見を踏まえ、事務局は答申書（案）の調整をお願いします。

事務局： 答申書（案）を作成し、委員に配付。読み上げ。

委員長： 修正等がありますか。特になければ、こちらで答申書（案）とします。

事務局： 答申書の伝達は、5月15日（月）10時から観音寺市役所4階市長応接室で行います。本委員会を代表して、山崎委員長と角崎副委員長は出席をお願いします。

（３）その他

委員長： その他について、ご質問、ご意見ありますか。特に無いようなら、閉会となります。

6 閉 会